

教育事務所だより

令和5年5月22日発行

考えないスイッチ

所長 川上 諭

入学式を少し過ぎた頃、松江市内の小学校に出かける機会がありました。途中の車の中から、整然と並んだ黄色い帽子が横断歩道橋を上っていくのが見えました。先頭には時々後ろを振り返る大人の姿がありました。

入学してしばらくの間、同じ方向へ帰る1年生を担当や空き時間の教員が途中まで引率することは、多くの小学校で行われていると思います。しかし、教員不足の影響で、このような大切な取組をすることが年々難しくなっています。当教育事務所管内においても、昨年度よりも厳しい状況になっており、今年度も多数の緊急対応非常勤講師を配置せざるを得ませんでした。非常勤講師の割合が増えることにより、午後になって教員の数がぐっと減り、様々な対応に苦慮しておられるなど、学校現場に大きな負担をかけていることに、申し訳ない気持ちでいっぱいです。そのような状況下にもありながらも、工夫しながら教育活動を進めていただいていることに、頭が下がる思いです。

教員不足の状況はここ4、5年の間に急速に悪化し、校内体制も大きく変わっています。教育事務所が5年前と同じようにとらえていたのでは、今の学校を支えることは難しいと考えています。そこで、当教育事務所の今年度のスローガンは「学校の『今』を支える」としました。学校訪問等とおして学校の現状把握に一層努め、多角的・多面的な視点から分析し、教育事務所としてできることに全力で取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いします。

ところで、最近、様々なメディアにおいて「チャットGPT」に代表される対話型人工知能（対話型AI）についての話題が取り上げられています。4月の終わりに高崎市で開催されたG7デジタル・技術相会合においても、その利便性やリスクについて議論され、共同声明も採択されました。対話型AIを活用することにより、違和感のない会話や文章作成が可能であると聞きます。レポートや読書感想文等が容易に作成できることから、学生や児童生徒の思考力や想像力（創造力）の低下が懸念されています。

「思考力の低下」と聞いて思い出すのは、以前、寶來生志子さん※から伺ったお話です。「生来、『有能な学び手』である子どもたちに、何でもかんでも初めから答えを与えてしまうようではいけない。それを続ければ、子どもたちの『考えないスイッチ』が入ってしまい、自分で考えようとしなくなる。新しいことを知ることや分かることは、わくわくすることである。その『わくわく感』が学びにつながる。」寶來さんはこのように仰っていました。

対話型AIの利活用を規制しようとする動きもありますが、子どもたちが、当たり前のように使うようになる日もそう遠くないかもしれません。だからこそ、わたしたちは、子どもたちの『考えないスイッチ』が入らないような学びを提供していかなければなりません。当教育事務所としましても、各校の教職員のみなさんと共に考え、子どもたちの学びを支えていきたいと思っております。

※ 横浜国立大学立恩田小学校長（～R4年度） 国立教育政策研究所「スタートカリキュラムスタートブック、スタートカリキュラム実践事例集」の作成に関する協力者（H26～29） 文部科学省「学習指導要領等の改善に係る検討に必要な専門的作業（生活科）」等協力者（H29）

学校教育スタッフの令和5年度の取組方針 ～学校の個別最適な学びを支援～

学校教育スタッフ企画幹 植田 道

今年度、学校教育スタッフは5名の新メンバーを迎えてスタートしました。「学校の『今』を支える」をキーワードに、次の3つを基本姿勢として、日々の業務に取り組んでいます。

1. 傾聴の姿勢を基本としたあたたか（暖か、温か）な学校支援（寄り添う）
2. 本庁・市教委と連携した迅速かつ的確な学校等への対応（つながる）
3. 新しい情報の収集，教材研究，研修を通じた自己研鑽（学び続ける）

学校や教職員の実情やニーズを把握し、「何を」「どのように」という取組の具体を共に考え、歩んでいく姿勢を大切にしています。学力育成・生徒指導・特別支援教育・社会教育の担当スタッフが一堂にいる職場の強みを生かし、「子どもたちのため」「学校のため」の総合的・継続的な支援を行っていきます。

今年度は「生徒指導の視点を生かした授業づくり」の学校訪問指導を新設しました。日常の授業づくりや研究の進め方など、お気軽にご相談ください。



安来市派遣 宮廻繁 安来市派遣 吾郷綾子 安来市派遣 村上陽輔 松江市派遣 丹羽隆 松江市派遣 名目良美穂 桐山直子 池田文昭
 秦美沙江 角真理 山崎敦史 植田道 城市則子 宮崎次光 梅田英樹

社会教育スタッフの令和5年度の取組方針 ～「未来に対して主体性をもって生きる人」の育成～

社会教育スタッフ調整監 池田哲也

1 学校・家庭・地域が連携・協働する魅力ある教育環境・仕組みづくり

児童生徒にこれからの時代を生き抜く力を育成するために、多様な学びのニーズに対応する機会の充実や学びの支援が大切です。そのためには、学校、家庭、地域が連携・協働して魅力ある教育環境を整える必要があります。魅力ある教育環境・仕組みづくりを進めるために以下のことに重点を置き、市、学校区の取組を支援します。

- 学校・家庭・地域が目標を共有し、子どもを取り巻く課題解決のための協議，対話する場の充実
- 学校・家庭・地域をつなぐコーディネーター等の人材発掘，育成
- 親学プログラム等を活用した大人の学び，交流の場の充実
- 週末や放課後等の子どもの居場所づくりと体験活動の充実

2 地域の未来を担う人づくり

上記のように、地域住民が児童生徒の教育に関わることで、住民の生きがいや学習意欲を喚起し、生涯学習の充実につながります。さらに自らの地域について考える機会ともなり、地域づくりに関わる意識を高めることにつながります。

学びをとおして人づくり，地域づくりを進める有効なプロセスとして、本県では【社会教育の流儀】「集って・楽しんで・学んで・動いて・変えていく」を大切にしています。この学びの過程を繰り返し行うことで、自己変容を促し、学びの成果を生かすことによる「学びの循環」や、学ぶことにより新たな学びを生む「学びの連鎖」を生み出します。このことにより、自己実現を図ったり、地域課題に向き合ったりする意識を持った「未来に対して主体性を持った人」を育成していくことを目指しています。このような学びをデザインし、コーディネートする社会教育関係者（公民館及び交流センター職員，PTA 関係者 等）を支援します。



松江市派遣 山田祐司 人権教育推進員 野田勝巳
 安来市派遣 高尾康弘 池田哲也 松江市派遣 林和博

令和5年度 松江教育事務所 所掌分掌

所長 川上 諭 ☎ (0852)32-5765	調整監 新村本 有史 ☎ (0852)32-5766	教職員の人事や服務に関すること
--------------------------------------	---	-----------------

【総務課の主な業務】 ☎(0852)32-5777

課長 落部 加苗	○所内及び課内事務の総括 ○小・中学校の旅費の配分	主幹 新椋木 範子	○会計年度任用職員の任用, 社会保険・雇用保険 ○旅費(松一G, 湖北G, 安一G)
主任 宇野 翔	○教職員の給与関係 ○旅費(松三G, 松四G, 玉湯・宍道G, 広瀬G, 伯太G)	主任 松坂 秀治	○旅費総括(湖南G, 本庄・美保関・八束G, 東出雲G, 安二G)
主事 澁野 珠紀	○臨時的任用教職員の給与関係 ○旅費(松二G, 湖東・八雲G, 鹿島・島根G, 安三G)	会計年度任用職員 岩谷 優紀	○旅費(松四G, 湖東・八雲G, 湖北G, 鹿島・島根G, 安二G, 伯太G)
会計年度任用職員 室 愛華	○旅費(松二G, 松三G, 本庄・美保関・八束G, 東出雲G, 安一G)	会計年度任用職員 岡 千琴	○旅費(松一G, 湖南G, 玉湯・宍道G, 安三G, 広瀬G)

【学校教育スタッフの主な業務】 ☎(0852)32-5772

指導主事(兼)企画幹 新植田 道	○社会, 総合的な学習の時間 ○各種研究大会(助言者依頼等) ○経験者研修	指導主事 山崎 敦史	○算数・数学, 特別活動 ○へき地・複式教育
指導主事 宮崎 次光	○理科, 生活 ○学校訪問指導	指導主事 新秦 美沙江	○国語, 道徳 ○図書館活用教育 ○新任教職員研修
指導主事 池田 文昭	○特別支援教育	指導主事 (生徒指導専任) 桐山 直子	○生徒指導
指導主事 (特別支援教育 支援専任教員) 城市 則子	○特別支援教育に係る教員の相談 ☎32-5791	幼児教育 アドバイザー 新角 真理	○幼児教育 ☎32-5792
派遣指導主事【松江市派遣】 新丹羽 隆 (学力育成) 新名目良 美穂 (生徒指導) 梅田 英樹 (特別支援教育)		派遣指導主事【安来市派遣】 宮廻 繁 (学力育成) 新村上 陽輔 (生徒指導) 吾郷 綾子 (特別支援教育)	
			○学校訪問指導業務 ○派遣先市町村教育委員会における業務

【社会教育スタッフの主な業務】 ☎(0852)32-5775

社教主事(兼)調整監 池田 哲也	○社会教育及び生涯学習の振興に関すること	人権教育推進員 野田 勝巳	○人権教育の取組推進に関すること
派遣社教主事【松江市派遣】 新林 和博 山田 祐司		派遣社教主事【安来市派遣】 新高尾 康弘	
			○派遣先市教育委員会における社会教育行政及び生涯学習振興行政に関する業務

令和5年度 松江教育事務所管内 研究指定校等

◆研究指定校事業 ※ ㊦; 国指定 ㊧; 県指定

R5. 5. 1現在

指定事業名	指定校・園等
㊦令和の日本型学校体育授業構築支援事業 (R5)	安来三中, 広瀬中
㊧しまねの学力育成プロジェクト事業 (R4~R6)	松江市 (乃木小, 湖南中) 安来市 (荒島小, 安来三中)
㊨金融教育研究校 (R4~R5)	八束学園
㊩生きる力を育む歯・口の健康づくり推進事業 (R5~R6)	赤屋小
㊪複式教育推進指定校事業 (R5)	布部小
㊫学校図書館活用教育研究事業 (R5)	松江二中

◆研究大会等

大会等名	開催期日・指定校等
第55回中国地方放送教育研究大会 (島根大会) 第37回島根県メディア教育研究大会 (安来大会)	10/20 (金) 安田小, 母里小, 井尻小, 赤屋小, 伯太中
第61回中国・四国地区中学校技術・家庭科研究大会 (島根大会) 第37回島根県中学校技術・家庭科研究大会 (松江大会)	10/19 (木)・20 (金) 松江一中, 松江二中, 玉湯学園, 宍道中, 安来三中
令和5年度島根県小・中学校生徒指導研究大会 (松江安来大会)	8/9 (水) 大庭小
第14回松江市教育研究大会 (Dブロック研究大会)	11/7 (火) 東出雲中校区各幼稚園・小・中学校

令和5年度 松江教育事務所管内 継続型訪問指導実施校 (18校)

実施校	教科等	実施校	教科等	実施校	教科等
意東小	国語	社日小	道徳	南小	理科
能義小	理科	荒島小	算数	広瀬小	体育
比田小	道徳	山佐小	道徳	布部小	道徳
安田小	理科, 生活 ICT活用	母里小	社会, ICT活用	井尻小	図画工作, ICT活用
赤屋小	国語, ICT活用	美保関中	道徳	東出雲中	理科, 社会, 総合的な学習の時間, 図書館活用
安来二中	総合的な学習の時間	広瀬中	英語, 総合的な学習の時間	伯太中	数学, 道徳 ICT活用

お知らせ

「メディカルアカデミー」
(会場: 3会場(県内医療機関))
【期日】8月中 【対象】中学2・3年生

「科学の甲子園ジュニア」1次予選
(会場: くにびきメッセ)
【期日】7月29日(土) 【対象】中学1・2年生

「しまね数リンピック」(会場: 松江合同庁舎, 安来市学習訓練センター)
【期日】年10月29日(日) 【対象】小学5・6年生, 中学1~3年生

教科等研修

※該当校種の全ての学校に対象者のあるもの

中学校数学理科教員授業力向上研修 (数学) 6/22 6/23 10/31 (全3回, 各90分オンライン)
中学校数学理科教員授業力向上研修 (理科) 6/20 6/21 11/7 (全3回, 各90分オンライン)
ふるさと教育研修 8/1
中学校体育教員(陸上競技)研修 9/26
小・中学校「総合的な学習の時間」研修 1/17 (義務教育学校及び松江市橋北の小中学校)
1/19 (松江市橋南及び安来市の小中学校)